

令和2年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の名称

施設名称	小平町陶芸登窯施設		所管課名	社会教育課文化係				
所在地	小平町字小平町 463 番地		設置年月日	平成9年11月26日				
施設設置目的	陶芸を通じて地域住民がいそがいを高め、並びに文化の振興と福祉の増進を図ることを目的とする、							
主な施設・設備	・登窯管理棟 ・登窯上屋(登窯・休憩室) ・登窯物置							
指定管理者名	小平町陶芸施設運営実行委員会							
選定方式	公募・ <u>非公募</u>	【非公募の理由】						
		① 当該施設の性格、規模及び機能により公募することが適さないと認められるとき。(規則第6条第1項第1号) ② 公募に対し応募者がいないとき。(規則第6条第1項第2号) ③ 指定管理者の候補者に選定された団体をしてすることが不可能となり、又は著しく不相当と認められる事情が生じたとき。(規則第6条第1項第3号)						
	(特記事項)							
指定開始年度	平成18年度							
指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで(5年間)							
指定管理者の主な業務	・目的に掲げる事業を遂行する業務 ・使用許可及び施設使用料の徴収に関する業務 ・施設及び付属施設の維持及び管理に係る業務							
利用料金の導入	あり(施設使用料)・なし							
施設の利用実績	利用区分等	利用実績(人)						
		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度		
	陶工房入館者数	820	1,173	1,138	814	376		
	施設使用料	153,800	189,650	204,000	171,200	66,200		
	翌年度繰越金	197,016	127,759	157,536	167,655	397,993		
	(特記事項)							
	・令和2年度はコロナ禍の影響により4月18日から5月31日まで休館措置、その後もコロナ下の影響を受け事業等の自粛と団体入館が大きく落ち込みました。							
指定管理料(過去5年間)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	2,500,000円	2,500,000円	2,500,000円	2,500,000円	2,500,000円			
	(特記事項)							
指定管理者職員体制	合計	7人	職員	1人	臨時	6人	パート	人
(その他特記事項)								

2 町（所管課）による評価

指定管理者の事業計画書（提案書）の内容に基づき、その水準が達成されているか町が点検・評価するものです。

■評価の基準

優 良：高いレベルで実施されており高く評価できる。

良 好：事業計画書どおりに適切に実施されており、問題は見られない。

普 通：事業計画書どおりに概ね適切に実施されているが、一部不適切な部分の確認されたが改善済みである。

不十分：不適切な部分の確認されたので、改善を要する。

大項目	中項目	評価項目	評価				評価に対する説明
			優 良	良 好	普 通	不 十 分	
管理能力	団体の概要	団体の経営状況はどうか		○			道内の陶芸愛好家とのネットワークを形成している。
		当該施設管理運営をサポートする体制はあるか	○				
	適切な管理運営	町の方針、施設の設置目的等を理解した管理はされているか		○			
		町が示す施設運営方針や管理の基準等に適合しているか		○			
		公共の仕事という倫理性や法令遵守を認識し対応しているか		○			
		町や関係団体等と連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか		○			
	町民の平等利用	正当な理由なく一部の町民に利用制限や優遇が行われていないか		○			
		事業内容に偏りがなく、利用者が限られることはないか		○			
	適切な組織・体制	職員体制や配置人員は適切であるか		○			
		現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切か		○			
		労働関係法令を遵守した規定を整備し、職員の適正な労働条件を確保しているか		○			
	職員研修・人材育成	職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか		○			
	経理及び事務処理	会計処理の基準等に基づき適正な事務処理となっているか		○			
		経理帳簿等を整備し、情報公開や監査請求に対処できるか		○			
		必要に応じパソコン等 I T 機器を活用できるか		○			
		施設や設備の保守点検は、必要な基準や仕様を満たしているか		○			
	安全管理	業務報告や事業報告が適切に作成されているか		○			
		安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施はされているか		○			
		施設、警備体制等は適切であるか		○			
	緊急時対応	利用者の安全確保に関する研修を実施し、職員が内容を熟知しているか		○			
事故や災害時等緊急時の連絡体制が十分に整備されているか			○				
避難経路の確保や避難時に支障をきたす障害物はないか			○				

	個人情報保護	個人情報の管理方法においてセキュリティ対策を講じているか		○		
	秘密の保護	職員が業務上知り得た秘密について漏洩防止対策を講じているか		○		
施設の運営	業務内容	業務について処理・対応が適切に行われているか		○		
		管理区域、業務範囲について漏れなく的確に把握されているか		○		
		事業の内容や施設の有効利用に創意工夫がされているか		○		
		年間の事業量が適切に実行されているか		○		
	業務の第三者委託	業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか		○		該当する再委託なし
		再委託先から適切に業務報告をさせるなど再委託の管理が適切か		○		該当する再委託なし
	経費節減・業務効率化	経費節減や業務効率化が継続的に行われているか		○		
	備品等の維持管理	引き渡した備品等に過不足はないか		○		
		引き渡した備品等はその機能が失われていないか		○		
	利用の促進	施設の利用促進に努めているか		○		
	利用者サービス	利用者サービスの向上に努めているか		○		
	障害者等への配慮	障害者、子ども、高齢者等に配慮した管理がされているか		○		
	苦情等への対応	利用者の苦情や要望、意見等に適切に対応しているか		○		
	セルフモニタリング	セルフモニタリングが適切に行われているか		○		
	環境への配慮	省エネ等の環境に配慮と廃棄物処理は適切か		○		
	地域との連携	地域住民等との連携に積極的に取り組んでいるか		○		
	自主事業	サービスの向上かつ収入増に結びついたか			○	担当課との連携により、利用者増を図る取り組みが必要。
		収支のバランスはとれているか			○	
	特記事項への対応	募集要項における特記事項について考慮されているか			○	
	事業報告書	事業報告書と事業計画書を比較し、収支の過小、過大はないか			○	

3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和3年3月29日～令和3年4月9日まで
	調査対象	年間通じて利用の多い利用者10名からの電話アンケート及び参加者からの感謝の手紙から抽出
	調査方法	電話アンケートと手紙による解析
調査結果	電話10名 全員から概ね満足と回答 感謝の手紙 5通 (小平小学校・下川中学校・天塩小学校など、大人の団体も江別市など)	

利用者からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・湯のみ茶碗の作りかたを丁寧に教えてもらった。 ・普段ではできない面白いものができ、うれしかった。 ・陶芸に興味を持てた。 ・学校の作品展に出品する作品を作ることができた。
-----------	---

4 指定管理者による自己評価

今年度の自己評価	<p>コロナ禍の影響を受けいろいろな面で自粛を余儀なくされた災禍の中、4月中旬から5月いっぱいにかけて休館を余儀なくされました。また、感染対策は万全で開館したものの、県をまたいだ移動の自粛が求められるなどしたことで入館利用者は大幅にダウン。登り窯についても中止となりました。それ以外の利用については支障なく実施することが出来ました。事業等の中止の影響で繰越金が多くなりましたので必要備品や釉薬などの購入整備を行い、施設の魅力アップを図りたい。</p>
指定管理期間（5年間）の自己評価	<p>全体的には利用者は減少傾向です。要因としては年々進む高齢化により利用者減は必至な側面もあります。また、学校や宿泊研修の減少がひところみられましたが、ゆうゆうそう等の宿泊研修施設との連携で持ち直しています。期中に役割を終えたことから野焼きのつどいは終了させました。登窯については、経費も大きくなることから作品数の動向を見極めつつ継続していき、魅力を高め利用者を発掘していきたい。</p>

5 町（所管課）による総合評価

<p>利用者の増加には苦勞はしているが、専門性の高い陶芸施設を地元の住民が主体となって運営し、模範的な管理運営をしてもらっていると考えており、「良好」であると考えている。</p> <p>体験活動の普及啓発については、担当課としても大人の社会教育事業として推進することで、バックアップもしていきたい。</p>	総合評価結果			
	優 良	良 好	普 通	不 十 分
		○		